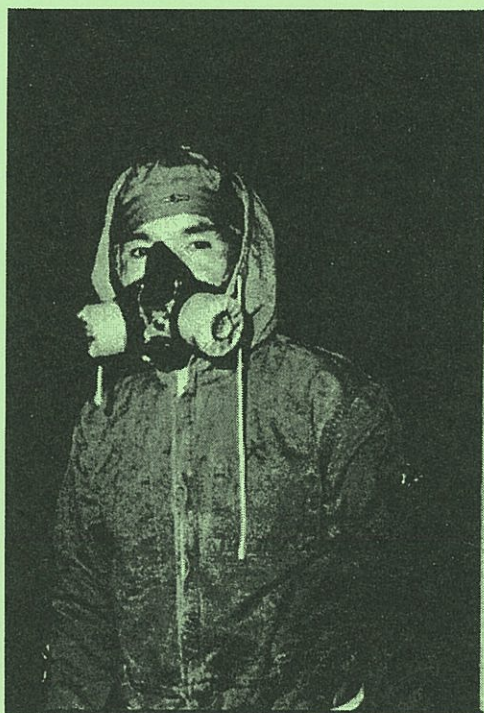


世界の原発を撮り続ける写真家

## 樋口 健二 講演会

# 原発労働者の代弁者として



「原発労働者」(撮影：樋口健二)

これまで闇へと葬られてきた、原発が生み出す被曝労働者の存在。国民の大多数は「原発安全神話」を無批判に信じ込まされ、何十万人もの下請け労働者が放射能被曝に苦しんでいることなど考えも及ばなかったろう。暗黒労働によってつぶされた彼らの実態から、暗く醜い原発社会の裏側が浮き彫りになる。

原発の最大のアキレス腱ともいふべき原発下請け労働者の放射線被曝の実態は現代社会の闇とはいえまいか。  
(樋口 健二)

2011年11月2日 (水)

18:00開場 18:30開会

自治労会館 5F 大ホール

(札幌市北区北6西7)

参加費 500円

### 樋口 健二さん

報道写真家。1937年長野県生まれ。日本写真芸術専門学校副校長、日本写真家協会会員、世界核写真家ギルド会員。日本広告写真家協会学術会員。

1972年から原子力発電所における被曝労働などの取材を敢行。日本や世界の原発を撮り続け、世界的にも高い評価を受けている原発取材の第一人者。

著書『樋口健二報道写真集成—日本列島66-05』(こぶし書房)、『闇に消される原発被曝者』(八月書館)ほか多数。最新写真集：『原発崩壊』(2011年8月 合同出版)



共催：Shut泊 ハンマダン 市民自治を創る会

(連絡先：ギャラリー茶門 TEL/FAX 011-711-1910)